

平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会

〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

大阪8人参加

結成70周年記念レセプション

全体190人

日本平和委員会は2月1日夜、都内のホテルで結成70周年レセプションを開催しました。

小田川義和全労連議長、小池晃日本共産党書記長（左の写真の中央）、ジャーナリスト・伊藤千尋さんなど各界各層から190人が出席し大盛況でした。

会場が狭く、関東ブロックの席は、急遽本会場の入り口に当たるロビーに設けられたため、レセプションの進行は音で確かめるしかないという気の毒なことになりました。

大阪平和委員会からは、近藤正理事長はじめ8人（関東圏以外では最大）が出席し、他の都道府県の仲間と楽しい交流のひとつを過ごしました。

各界代表の挨拶の後上映された創立70周年記念DVD（2月5日夜の常任理事会で上映）では内藤功代表理事、畑田重夫顧問に続いて、小林徳子大阪平和委顧問が登場し「日本平和委員会結成70周年おめでとうございませう」と祝辞を述べました。



また、このDVD上映後、橋本敦大阪平和委名誉会長の動画メッセージが3分にわたり紹介され橋本名誉会長は「ロッキード事件追及で田中首相を退陣に追いこんだ元日本共産党参議院議員の橋本敦です。70周年おめでとうございませう」と力強く祝いの言葉を寄せました。

なお、このレセプション参加者には日本平和委員会パンフ「70年の歩みを振り返る」（12頁1949〜2019年）が渡されました。

日韓連帯学習会満席

韓国大法院は2018年10月、日本企業に対してアジア・太平洋戦争中に強制動員された韓国人元「徴用工」への損害賠償を命じる判決を出しました。それから1年半近くたとうとしている現在でも、日本政府は、1965年の日韓請求権協定で「解決済み」だと繰り返し、輸出規制措置をとるなど、強硬姿勢を取り続け、メディアも韓国バッシングを続けています。

そんな中、大阪平和委員会と日本コリア協会・大阪は2月15日、「徴用工」問題の真の解決をめざし、長年にわたって強制動員被害者への支援を続けてきた高橋信（まこと）名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会共同代表（愛知県平和委員



高橋信さんの講演要旨

「徴用工」問題をめぐり「国と国の約束を破った」「蒸し返すな」とよく言われる。その根拠とされているのが請求権協定。この協定では日本政府が総額5億ドル（無償3億ドル、有償2億ドル）の「経済協力」を行うことで「完全かつ最終的に合意した」（第2条）とされた。しかし、実際は、現金ではなく「生産物」「役務」によって、しかも10年かけて支払われた。恩恵を受けたのは韓国企業や日本の独占資本だった。

強制動員被害者にはお金が渡ったのか。請求権協定から10年後の1975年、1945年8月15日以前に死亡した労務動員・軍人・軍属の8、552人の遺族に一人30万ウォン（19万円／当時の日本円）が支払われただけ（3億ドルのわずか1.5%）。生存者には支払われなかった。過去の日本の過ちに引き合い、被害を受けた方々が、少しでも報われるように、毎週金曜に加害企業・三菱重工本社前で「宣伝」行動を続けてきたが、その行動

が1月17日に500回を迎えたので、特別集会を韓国からゲストも招いて開催した！

2月沖縄連帯行動

大阪平和委員会は2月14日昼近鉄上本町駅前「沖縄連帯行動」を天王寺平和委員会、うたごえ協議会の仲間を含め6人の参加で実施しました。

行動の参加者たちは、表面に「沖縄・辺野古米軍基地建設もう止めるしありません。工期も費用も膨張 土砂投入は1年で1% 道理も見通しもない」と裏面に「自衛隊を中東に送るな」と訴えるチラシを渡しながら、「日米地位協定の見直しを求める署名」を訴えました。この行動を通して、同署名が12筆寄せられました。

「日本はこれでも独立国 屈辱すぎる『日米地位協定』」との見出しのマンガ横断幕も掲げるビジュアルな宣伝行動を展開したためもあり署名に応じてくれる人が多かったのですが、あいにく小雨が降りだし短時間の行動になってしまったことは残念無念でした。



マンガ横断幕好評

【3月の行事案内】

- 1日(日) 3.1 ビキニデー・墓参行動 9:00 JR焼津駅
- 5日(木) 国際女性デー大阪集会 18:30 ドーンセンター7F
- 7日(土) なくせ原発・再稼働反対！大阪大集会 13:30 エルシアター
- 9日(月) 原水協6・9行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 11日(水) アートフェア 大阪市中央公会堂2F ギャラリー（～13日）
- 13日(金) ケイ・シュガーさんコンサート 18:00 天満教会
- 16日(月) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅頭
- 18日(水) 核兵器・地球環境を考えるつどい 18:30 国労会館
- 28日(土) 大阪安保「総会」13:30 国労会館3F

今月の言葉 「大企業の内部留保は449.9兆円」

大企業の内部留保は、2019年1～3月期に449.9兆円となり、史上最高となりました。これは第二次安倍内閣が成立する直前の2012年1～3月期とくらべて、1.42倍です。大企業が内部留保を増やす大きな理由は、設備投資をしても生産したものが売れる見通しがないからです。なぜ、そなたなのでしょう。賃上げをおさえ下請け単価を買いたたいて国内消費を冷え込ませ、貧困層を一層拡大していることに原因があります。つまり、大企業自身が製品の売れない原因をつくっているのです。（「日本の支配者」佐々木憲昭著 新日本出版社）

女性も集まれる楽しい平和委員会を！

堺で色々な団体が寄つて、「ジェンダー問題を考える会」を作つて定期的に学習会などの取り組みをしている。野党と市民の共闘、堺1000人委員会、市長選挙で繋がった人たちも一緒に、少しずつ運動のひろがりを感じている。私は元々事務局として参加していたが、堺平和委員会からも「ジェンダー問題を考える会」に参加しようと提案し、承認された。選択式夫婦別姓に「結婚しなければいい」との女性議員の野次に、夫婦別姓の議論は高まっているとき。日本はジェンダーギャップ指数153カ国中121位と恥ずかしくなる低さ。これは、賃金格差や女性の管理職や女性議員数の割合の低さ、などによる。長い間、「男らしさ・女らしさ」を強要され、特に日本では、性差で押し付けられた社会的な役割を受けざるをえなかったため、「ジェンダー平等」を学ぶことが必要になってくる。堺平和委員会も、私が2年前事務局に入る前まで男性だけで運営をしていた。女性蔑視の



大阪平和委事務局員・亀井さん

ない方ばかりだが、「女性が事務局に入ることによって日常生活と平和運動を結びつけた楽しい、キラキラした平和運動ができるんじゃないかな」と勝手に思っている。女性は、物事の善し悪しを、忖度やええかつこ抜きで判断できるし、ためになることには集まってくる。女性の居心地のいい場所は男性にとっても絶対いい場所なはず。堺でも女性も集まれる楽しい平和委員会を作っていきたいと思う。

(堺平和委員会 亀井明子)

東住吉通信より

89才ご婦人が入会

長谷川さんは12日、太極拳など一緒に頑張ってきた八九才の友人(20才以上はなれていますが) Yさんをたづねて「東住吉に平和委員会ができて、百人会員を目指している、会費は四百円で大阪と東住吉のニュースをお届けします、ぜひ入会を」とよびかけて入会していただきました。Yさんは演歌歌手山内恵介の大ファンで、いまでも元気に公演に行かれるご婦人です。2月10日夜、針中野での宣伝を終えて、植田会長、山本副会長と黒田事務局長の3人で駒川商店街のスタントンという本屋(子供向け絵本、画集、写真集など販売する、クオリティーの高い本屋)を訪問し、東住吉に



東住吉成人式宣伝↑



平和委員会が結成された旨を話す。オーナーの田中さんは、木津川計さんの「ひとり語り」を企画されているメンバーのお一人です。私たちが訪問した時に「なにか持っていらないかなら店の棚に置いていただいていたんですよ」と田中さんに言われました。ちょうどその時に持ち合わせていなかったもので「また」ということになっていました。13日午後、黒田事務局長が平和会員の山村さん(駒川商店街で洋品店商い)とともにスタントンを訪問し、「改憲いらないアベさんさようなら」のパンフレットを店先に置いていた

【平和は眠りを許さない】
 (東住吉平和委員会役員ニュース2月15日号)より転載

中国ブロック平和学校

東住吉の結成について報告

2月11日「中国ブロック平和学校」が岡山城近くの会場で全5県から15名の参加で実施されました。

日本平和委員会から岩月事務

局長、河戸組織委員会責任者、上羽財政委員会責任者の3名が参加しました。午前中は「安保・米軍・自衛隊・戦争する国づくりの実態と各県の運動」について交流。

山口県平和委員会からは「海兵隊の交代を市当局に連絡しない」「米軍の時間外運用も一方的に通告するだけ」など、岩国基地を米軍が好き勝手に使用する一方、学校での英語教育に協力したり、基地ツアーを実施し住民の歓心を買うなどしている、との報告。広島県からは、呉基地を母港とするヘリ護衛艦「かが」の空母化問題と呉市からの自衛隊への積極的な個人情報提供問題などの報告。

午後は、組織と財政の取り組みの交流。

岩月事務局次長が6月の全国大会に向けた組織建設の取り組みの到達と教訓について報告した後、上羽事務局長が「東住吉の結成から学ぶ」と題して追加報告。

東住吉が昨年9月から12月にかけて会員4人から62人へ15倍化して組織を新設するに至つ



上羽事務局長が参加

たダイナミズム(力強さ)、工夫などについて具体的に話をする。ともに、東住吉独自作成の封筒や会費・紙誌代回収封筒、平和の鳩のシンボルマークが入った役員の名刺など実物を紹介しました。上羽事務局長は興味を示した。広島の会員に実物を渡し

た。東住吉平和委員会の新設が、中国5県の平和委員会の役員の方々の胸の奥に「仲間づくり」の意欲を高めたことは間違いありません。

基礎組織の催し案内

- ◇2月26日西淀川平和学習会
西谷文和さんの中東情勢報告
午後6時半〜のぞと診療所
- ◇2月29日高槻・新春のつどい・総会/14時〜クロスパル/中村哲さん・ドキュメンタリー作品「アフガンに水を」上映
- 八尾平和企画
- ◇3月7日「ナガサキ原爆記録全集第30回総集編」上映
- ◇4月19日河野仁・兵庫県立大学名誉教授による講義「気候変動による地球の危機」/いずれも河内へいわ館・午後2時〜
- ◇3月15日生野平和と春のつどい/正午より生野区民センター/西田さえ子・山本訓子のお二人へのインタビュー